

ノコギリヒラタムシとコクヌストモドキ

東京の
生活害虫

6



●ノコギリヒラタムシ成虫(体長約3mm)



●ノコギリヒラタムシ幼虫(体長約5mm)



●コクヌストモドキ成虫(体長3~4mm)

ビスケットやクッキーなどを放置しておくと、知らぬ間に虫がつくことがあります。お菓子のクズが糸でつづられているときはメイガ類、糸がないときはノコギリヒラタムシやコクヌストモドキなどの甲虫類であることが多いのです。

ノコギリヒラタムシ

体長3mmくらいの、褐色をした細長い甲虫です。胸の両側がノコギリの歯のような形をしているため、この名があります。以前はノコギリコクヌストともいわれました。

成虫・幼虫とも穀物、穀粉、穀粉製品などに被害を与え、家庭ではビスケットなどのお菓子や、新しいソバガラ枕などによく発生します。

コクヌストモドキ

体長3~4mm、赤褐色をした細長い甲虫で、名前のコクヌストは“穀盗人”の意味です。

成虫・幼虫とも穀粉や穀粉製品などに被害を与え、前種と同様、家庭ではビスケットなどによく発生します。

防除

お菓子を開封したまま放置しないことです。密閉した状態のまま、なるべく低温で保存します。